FUJIFILM

CLEAR SHOT 30 DATE
CLEAR SHOT 30

使用説明書　ご使用前に必ずお読みください

J

同梱品
この製品には、カメラ本体以外に以下の付属品が同梱されています。箱を開けたときにご確認ください。
- □ 単3形アルカリ乾電池 LR6 2本
- □ ソフトケース　□ ストラップ
- □ 使用説明書・保証書

FUJIFILM

保証書

製品名　CLEAR SHOT 30 DATE／CLEAR SHOT 30

ご購入年月日　　年　　月　　日

お名前　　様　TEL

ご住所

店名印

Printed in China　　FGS-204112-Ⓟ-02

製品保証規定

1. 保証の内容
   ご購入後1年以内に万一この製品が故障したときは、この保証書を添えてご購入店または富士フイルムサービスステーションにお届けください。無料で修理いたします。なお、お届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛かりにつきましては、通常の輸送方法と異なる方法をとった場合（定期便以外を使用した場合）は一部ご負担いただく場合があります。
2. 次の場合は保証期間内でも上記1．の保証規定は適用されません（修理可能の場合は有料で修理をお引き受けします）。
   イ. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
   ロ. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または記載事項を訂正された場合。
   ハ. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
   ニ. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
   ホ. お取扱上の不注意（使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障。
   ヘ. 本体に付帯している付属品類（ストラップなど）および消耗品（電池類など）。
   ト. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
   チ. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。
3. 本製品に対する保証は前記の範囲に限られます。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、撮影によって得るであろう利益の損失、精神的な損害など）の補償には応じかねます。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■ご注意
1. 本保証書は前記の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 本保証書の表示についてご不明の点は、使用説明書、カタログなどに記載されている弊社カメラ事業部 営業部かお近くの富士フイルム営業所や富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

FUJIFILM　富士写真光機株式会社

●お買い上げ製品についてのお問い合わせは…
富士写真光機株式会社　カメラ事業部 営業部　〒331-9624 埼玉県さいたま市北区植竹町1丁目324番地　TEL（048）668-2236
※ただし平成15年3月31日までは埼玉県さいたま市植竹町1丁目324番地

●光機製品のお問い合わせはこちらでも承ります

営業所	住所	電話
富士フイルム札幌営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）218-5575
富士フイルム仙台営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）216-6960
富士フイルム東京販売部内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30	TEL（03）3406-2387
富士フイルム名古屋営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル	TEL（052）203-5262
富士フイルム大阪支社内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11	TEL（06）6205-6421
富士フイルム広島営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）250-0755
富士フイルム福岡営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-0255

●お買い上げ製品の修理の受付は…

受付	住所	電話
札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
富士フォトサロン・東京	〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ	TEL（03）3571-9411
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
富士フォトサロン・大阪	〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル	TEL（06）6346-0222
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。
●東京、名古屋、大阪：富士フイルムサービスステーションは、通常の土曜日（祝日、年末年始、夏期休暇以外）は営業しております。ただし、受け渡し業務のみとなります。
●富士フォトサロン・東京、大阪は受け渡し業務のみです。

●富士フイルム製品のお問い合わせは…
お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00）TEL（03）3406-2981
富士フイルム ホームページ　http://www.fujifilm.co.jp/

安全にご使用いただくために

- ●この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- ●製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ●この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警　告	⚠ 注　意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警　告

- 絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。
- 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する恐れがあります。
- カメラ（電池）が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの恐れがあります（電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください）。
- フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。
- カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の恐れがあります。
- 引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの恐れがあります。
- カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する恐れがあります。
- 電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の恐れがあります。
- 指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の恐れがあります。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠ 注　意

- カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。
- 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。
- 電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

取扱上のお願い

1. カメラは精密機器ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。
   ①海辺や小雨の中などで使用するときは、水が掛からないようにご注意ください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
   ②カメラケースに入っていても、落としたり、固いものにぶつけると故障の原因になります。また、振動が加わるところ（自動車のトランクなど）に放置しないでください。
2. 長時間お使いにならないときは、高温・多湿・有害ガス（タンスの中のナフタリン、しょうのう他）・ホコリなどの影響の少ない、風通しの良いところに保管してください。
3. 閉め切った自動車の中などに長時間放置しないでください。
4. 飛行機をご利用の際、未現像のフィルムやフィルムの入ったカメラは機内持ち込みされることをおすすめします。預け入れ荷物に入れた場合、X線検査でカブリなどの影響が出る場合があります。
5. レンズ、ファインダーなどが汚れたら、ブロアーブラシでホコリを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。それでも取れないときは、富士フイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて、軽くふいてください。アルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。
6. フィルム室にホコリがあると、フィルムを傷つけることがあります。ブロアーブラシで払って清掃してください。
7. フィルムの装てん・取り出しは、直射日光を避けて行ってください。
8. このカメラの使用温度範囲は−5℃～+40℃です。
9. 寒冷地では電池の性能が低下しますので、衣服の内側に入れるなどして、温めてからご使用ください。なお一時的に性能の低下した電池は、常温に戻れば性能が回復します。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルムサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、裏面記載の弊社カメラ事業部営業部かお近くの富士フイルム営業所や富士フイルムサービスステーションをご利用ください。

●無料修理
故障した製品についてはご購入年月日、販売店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。
＊詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

●有料修理
保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。
1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または記載事項が訂正された場合。
3. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱上の不注意（使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障。
6. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

●修理不能
浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

●修理部品の保有期間
この製品の補修用部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。
なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店かお近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意
1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や富士フイルムサービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは4,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので、普通修理品の場合は富士フイルムサービスステーションで、お預かりしてから通常7～10日位をご予定ください。

●海外旅行中の故障
海外旅行中に故障した場合は、海外各地の富士フイルム海外支店または富士フイルム代理店をご利用ください。富士フイルム海外支店、代理店の所在地一覧表はお近くの富士フイルムサービスステーションにおたずねください。なお、海外での修理は対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

このようなときは

■操作中このようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください
シャッターが切れない。	①レンズカバーは完全に開いていますか。 ②電池容量がなくなっていませんか。 ③フィルムをすべて撮り終わっていませんか。	①レンズカバー開閉つまみをⓒまでスライドさせ、レンズカバーを完全に開けてください。 ②電源を入れてフラッシュ発光OKランプが点灯するのに約20秒以上かかる場合は、電池を交換してください。 ③フィルムを取り出して、未使用のフィルムを装てんしてください。
フィルムを入れたが、フィルムが進まない。	●シャッターボタンを押しましたか。	●フィルムカウンターが“1”になるまで、レンズを手で覆いながらシャッターボタンを3回押してください。
フィルムを入れて裏ぶたを閉め、シャッターボタンを押したが、フィルムカウンターが進まない。	●フィルムの先端をFILM TIPマークまで引き出して正しく装てんしましたか。	●フィルムの先端をFILM TIPマークまで引き出して、正しく装てんし直してください。
途中でフィルムが巻き戻されてしまった。	●撮影中にフィルム巻き戻しスイッチを動かしませんでしたか。	●フィルムが入っているときは、フィルム巻き戻しスイッチを動かさないようにご注意ください。
暗いところでもフラッシュが発光しない。	●フラッシュ発光OKランプは点灯していましたか。	●フラッシュ発光OKランプが点灯したことを確認してから撮影してください。フラッシュ発光OKランプが点灯するのに約20秒以上かかる場合は、電池を交換してください。
裏ぶたが閉まらない。	●パトローネが浮き上がっていませんか。	●パトローネが浮き上がらないように押さえてください。

■プリントがこのようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください
画面がぼんやりしている。	①1.3mより近づいて撮影しませんでしたか。 ②レンズが汚れていませんか。 ③カメラのブレではありませんか。	①1.3m以上離れて撮影してください。 ②レンズをきれいにしてください。 ③カメラをしっかり構え、シャッターボタンを静かに押してください。
画面が暗い。	①暗いところでのフラッシュ撮影で、被写体が遠すぎませんでしたか。 ②フラッシュ撮影時にフラッシュ発光部に指が掛かっていませんでしたか。	①規定のフラッシュ撮影範囲内で撮影してください。 ②フラッシュ発光部に指を掛けないでください。
デート（年月日／時分）が合っていない。（CLEAR SHOT 30 DATEのみ）	●電池を入れたとき、もしくは電池交換時に修正しましたか。	●電池を入れたとき、もしくは電池を交換したときは、年月日と時分を修正してください。
デートが写し込まれていない／はっきり写らない。（CLEAR SHOT 30 DATEのみ）	①デートモードを“------”にして撮影しませんでしたか。 ②デートの写る位置に、白・黄・だいだい色などの明るいものがありませんか。	①“------”以外のデートモードを選択して撮影してください。 ②デートの写る位置に、なるべく明るいものがこないようにしてください。

準備編　1. ストラップを取り付けます

ストラップ取り付け部にストラップを通し、取り付けます。

市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、PHS用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。

2. 電池を入れます

■使用する電池
★単3形アルカリ乾電池 LR6 2本

- ＊必ず2本とも新しい、同じ銘柄・種類のものを使用してください。
- ＊Ni-Cd電池は使用しないでください。
- ＊アルカリ乾電池では約250コマ撮影できます（当社試験条件による）。
- ＊旅行やたくさん写真を撮られるときは、万一の場合に備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によっては電池の入手が困難な場合があります。
- ＊気温が低いときには電池の性能が低下します。電池をポケットの中などで温めてからご使用ください。
- ＊電源を入れてフラッシュ発光OKランプが点灯するのに約20秒以上かかる場合は、電池を交換してください。
- ＊電池を交換したときには必ずデートを合わせてください（CLEAR SHOT 30 DATEのみ）。

❶電池ぶたを開けます。
＊電池ぶたに無理な力を加えないでください。

❷表示に従って電池を入れます。
❸電池ぶたを閉めます。

3. 電源ON

レンズカバー開閉つまみをⓒ側いっぱいまでスライドさせ、レンズカバーを完全に開けます。
＊レンズカバーを開くときにレンズ部に触れないようご注意ください。

＊レンズカバーが完全に開いていないと、シャッターは切れません。レンズが完全に見えるようになるまでレンズカバー開閉つまみをⓒ側にスライドさせてください。
なお、レンズカバーを開けるときにレンズカバー開閉つまみが途中で止まることがありますが、故障ではありません。ⓒまで完全にスライドさせてください。

4. 電源OFF

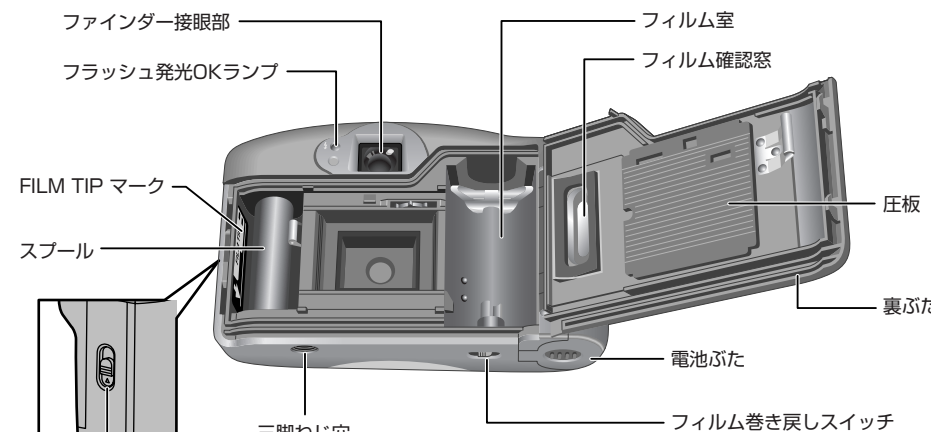
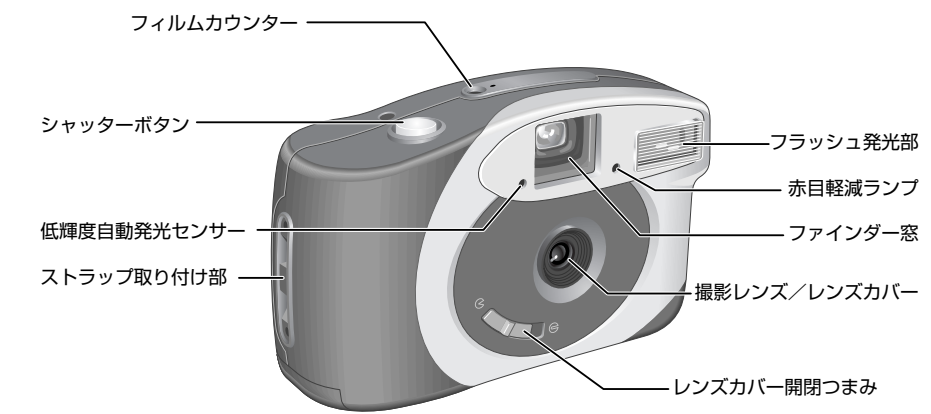
レンズカバー開閉つまみを⊖までスライドし、レンズカバーを閉じます。

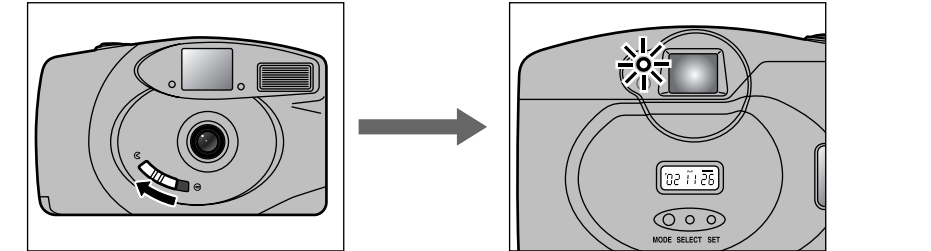
主な仕様

項目	仕様
使用フィルム	135（35mm）ロールフィルム（DXマーク付き）
画面サイズ	24mm×36mm
レンズ	フジノンレンズ　3群3枚　f=28mm　1：5.6
ファインダー	逆ガリレオ式　0.6倍　フラッシュ発光OKランプ
距離調節	1.3m～∞
シャッター	機械式シャッター（1/100秒）
フィルム感度	自動設定（DX方式による）　ISO 100/200、400
フィルム装てん	オートローディング方式
フィルム給送	電動式　自動巻き上げ　自動巻き戻し（フィルム巻き戻しスイッチによる）　途中巻き戻し可能
フラッシュ	内蔵フラッシュ　充電時間：約8秒　赤目軽減機能付き（シャッターボタン半押しでLEDプレ照射）
フィルムカウンター	順算式
電源	単3形アルカリ乾電池 LR6 2本
その他	三脚ねじ穴付き　デート機能（CLEAR SHOT 30 DATEのみ）
大きさ・質量（重さ）	●CLEAR SHOT 30 DATE 114.0mm×68.0mm×40.0mm（突起部除く）　140g（電池別） ●CLEAR SHOT 30 114.0mm×68.0mm×36.0mm（突起部除く）　135g（電池別）

＊仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

各部の名称

※「準備編」が裏面にあります。まずはじめにお読みください。

■この使用説明書の表記について
☞：参考になる情報などの記載
＊：注意などの記載

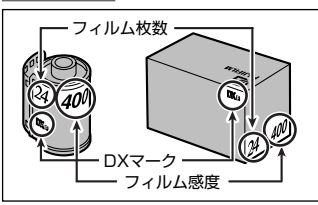
◆フラッシュ発光OKランプについて◆

電源を入れ、充電が完了すると、フラッシュ発光OKランプが点灯します。

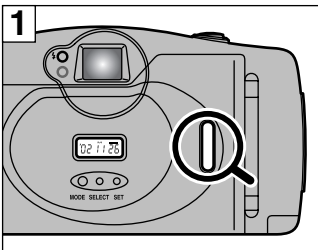
＊フラッシュ発光OKランプが点灯する前にシャッターを切ると、フラッシュは発光しません。

＊電源を入れたまま約3分間放置すると、フラッシュ発光OKランプは消灯します。
- シャッターボタンを半押しすると、フラッシュ発光OKランプは再点灯します。
- 充電は完了しているので、そのまま撮影できます。

＊電源を入れてフラッシュ発光OKランプが点灯するのに約20秒以上かかる場合は、電池を交換してください。

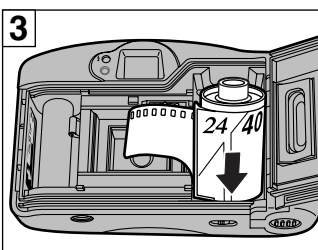
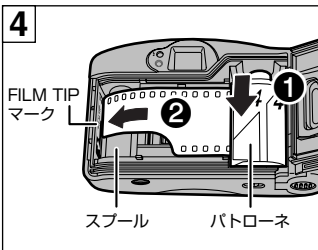
＊シャッターボタンを半押しし、赤目軽減ランプが点灯しているときには、フラッシュ発光OKランプは消灯します。

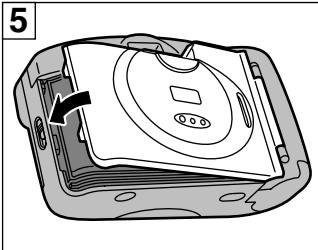
基本編　1. フィルムを入れます

外箱とパトローネ（フィルムの容器）にDXマークがあるISO100、200、400の35mmフィルムを使用します。

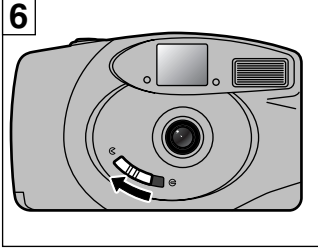
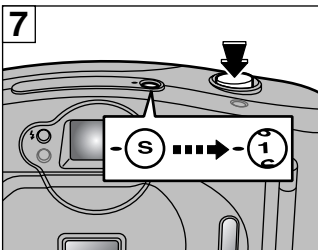
- DXマークのないフィルムはISO100の感度にセットされます。
- フィルムの装てん・取り出しは、直射日光を避けて行ってください。

1 フィルムが装てんされていないこと、フィルムカウンターに“S”と表示されていることを確認します。

＊撮影途中のフィルムが入っているときは絶対に裏ぶたを開けないでください。フィルムを取り出す場合は、「4. フィルムを取り出します／撮影途中でフィルムを取り出します」をご参照ください。

2 ❶裏ぶた開放つまみを動かします。
❷裏ぶたを開けます。

＊裏ぶたに無理な力を加えないでください。

3 フィルムを入れます。

4 ❶パトローネを押さえながら、❷フィルムの先端をFILM TIPマークまで引き出し、スプールの上にのせます。

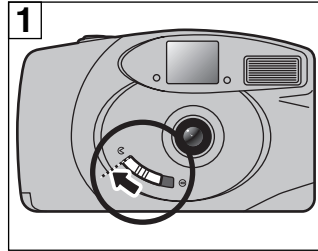
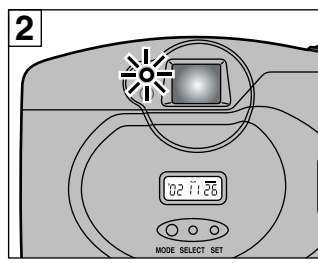
＊フィルムが浮き上がらないように、パトローネの角度を調節してください。
＊フィルムの先端がスプールの上にのっていることを確認してください。
＊フィルムを長く引き出しすぎたときは、フィルムを一度取り出して長さを調節してください。

5 裏ぶたを閉めます。

＊フィルム確認窓から、装てんしたフィルムの種類、フィルム枚数、フィルム感度が確認できます。

6 レンズカバーを開けます。

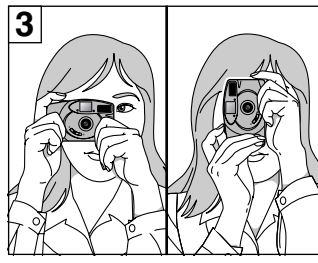
7 レンズを手などで覆いながら、フィルムカウンターが“1”になるまで3回シャッターを切ります。

フィルムカウンターが“S”のままの場合はフィルムが送られていません。撮影可能なフィルムを正しく装てんし直してください。

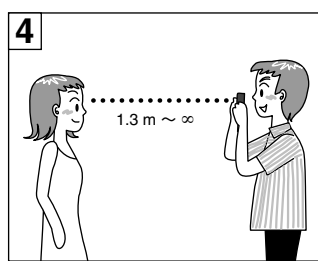
2. さあいよいよ撮影です

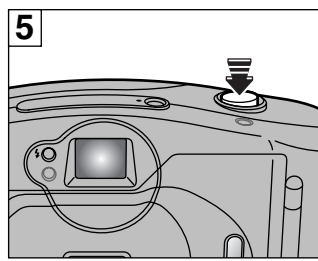
大切な撮影（結婚式や海外旅行、業務用途など）の前には試し撮りをして、カメラが正常に機能することを確認してください。

1 レンズカバーを開けます。

2 フラッシュ発光OKランプの点灯を確認します。

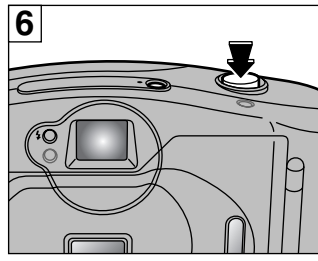
＊電源を入れたまま約3分間放置すると、フラッシュ発光OKランプは消灯します。
- シャッターボタンを半押しすると、フラッシュ発光OKランプは再点灯します。
- 充電は完了しているので、そのまま撮影できます。

＊電源を入れてフラッシュ発光OKランプが点灯するのに約20秒以上かかる場合は、電池を交換してください。CLEAR SHOT 30 DATEをご使用の場合、電池を交換したときには必ずデートを合わせてください。

3 両脇を締め、カメラを両手でしっかり構えます。

☞縦位置撮影ではフラッシュ発光部が上にくるように構えます。

＊レンズやフラッシュ発光部、低輝度自動発光センサーに指やストラップが掛からないようにしてください。

4 被写体から1.3m以上離れてファインダーをのぞき、構図を決めます。

＊撮影できる範囲は、1.3m〜∞です。

5 シャッターボタンを半押しします。

☞赤目軽減ランプが点灯し、フラッシュ発光OKランプが消灯します。

6 シャッターを切ります。

☞フィルムが次のコマまで送られます。
☞フィルムカウンターが1コマ分回転します。

＊フラッシュ発光OKランプが点灯する前にシャッターを切ると、フラッシュは発光しません。

フラッシュ撮影範囲

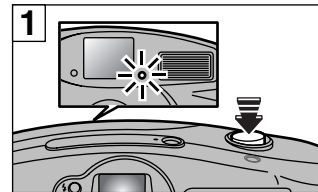
フィルム感度によってフラッシュ光の届く範囲が異なります。暗いところではフラッシュ撮影範囲に注意して撮影してください。

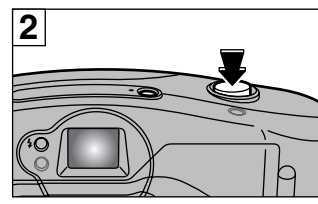
■フラッシュ撮影範囲

フィルム感度	フラッシュ撮影範囲
ISO 100	1.3m － 2.4m
ISO 200	1.3m － 3.4m
ISO 400	1.3m － 4.8m

（カラーネガフィルム使用時）

3. 赤目軽減撮影

シャッターボタンを半押しすると、赤目軽減ランプが点灯し、赤目現象を軽減します。

1 シャッターボタンを約1秒間半押しします。

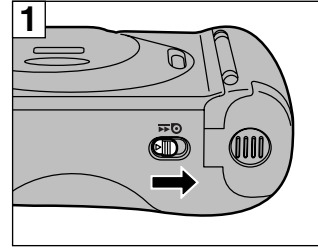
☞赤目軽減ランプが点灯します。

2 シャッターを切ります。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでフラッシュ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、フラッシュの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするためには、赤目軽減撮影すると共に、

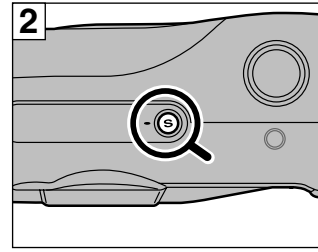
- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

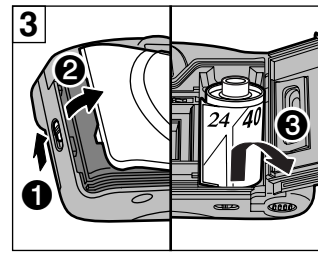
4. フィルムを取り出します/撮影途中でフィルムを取り出します

1 規定枚数を撮り終えたら、あるいは撮影途中のフィルムを取り出すときには、フィルム巻き戻しスイッチをスライドします。

☞巻き戻しが完了すると、“S”が表示されます。
☞最後の1コマを撮り終わると、シャッターは切れません。

＊規定枚数以上撮影できる場合がありますが、最後のコマはプリントされないことがあります。

巻き戻したフィルムは再撮影できません。撮影途中でフィルムを現像に出したいとき以外は、フィルム巻き戻しスイッチをスライドしないでください。

2 モーターが止まり、フィルムカウンターに“S”が表示されたことを確認します。

必ずモーターが止まり“S”が表示されたことを確認してください。“S”が表示される前に裏ぶたを開けようとすると、フィルムが感光する恐れがありますのでご注意ください。

3 ❶裏ぶた開放つまみを動かします。
❷裏ぶたを開けます。
❸フィルムを取り出します。

＊裏ぶたに無理な力を加えないでください。

◆カメラにフィルムが入っているときのご注意◆

- 撮影途中のフィルムが入っているときには、絶対に裏ぶたを開けないでください。

☞途中で裏ぶたを開けると、撮影済みのフィルムが感光してしまいます。
☞裏ぶたを開けると、フィルムカウンターは“S”にリセットされます。

万一裏ぶたを開けてしまったときは、

❶フィルムを取り出さず、そのまま裏ぶたを閉めてください。
❷レンズ部を手で覆いながら2回ほどシャッターを切り、未感光の部分までフィルムを送ります。
❸残りのコマは続けて撮影できます。

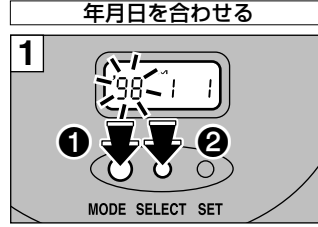
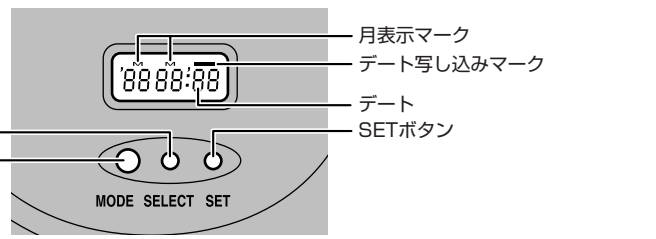
＊裏ぶたを開けるとフィルムカウンターがリセットされるため、正しいフィルム撮影コマ数は表示されません。

デート（年月日／時分）の合わせ方　（CLEAR SHOT 30 DATEのみ）

〈デート部の各部名称〉
（すべての表示が現れている状態）

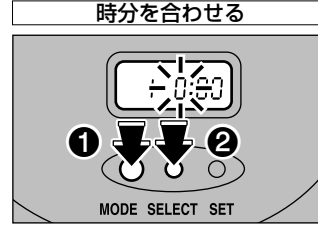
月表示マーク
デート写し込みマーク
デート
SELECTボタン
SETボタン
MODEボタン

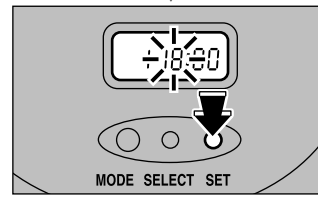
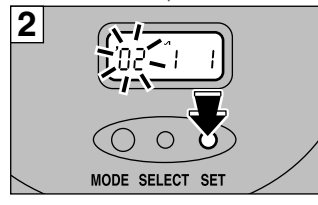
“年月日”は“時分”に連動して変わりますので、“年月日”と共に“時分”をセットしてください。

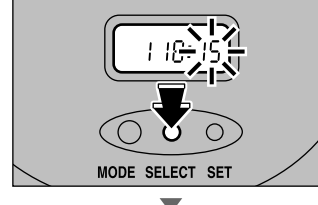
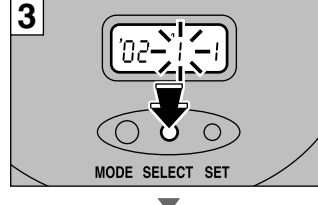
年月日を合わせる

1 ❶**MODE**ボタンを押し、“**M**”と“年月日”を表示します。
❷**SELECT**ボタンを押します。

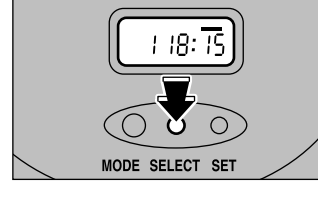
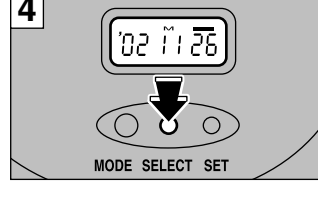
☞“年”が点滅し、年月日修正モードになります。

＊“**M**”の下の数字が“月”表示です。

時分を合わせる

1 ❶**MODE**ボタンを押し、“時分”を表示します。
❷**SELECT**ボタンを押します。

☞“時”が点滅し、時分修正モードになります。

2 **SET**ボタンを押して、点滅している数字を修正します。

■設定範囲
年：'98〜'49（1998年〜2049年）
月：1〜12　　日：1〜31
時：0〜23　　分：00〜59

3 **SELECT**ボタンを押すと、次の設定項目に移ります。

☞年月日修正モードの場合は“年”→“月”→“日”の順に、時分修正モードの場合は“時”→“分”の順に項目が移ります。

4 “日”あるいは“分”を合わせたら、**SELECT**ボタンを押してデート合わせを終了します。

☞時報に合わせたいときは、時分修正モードで“分”を合わせ、時報のゼロ秒時に**SELECT**ボタンを押します。

デートモードの選択　（CLEAR SHOT 30 DATEのみ）

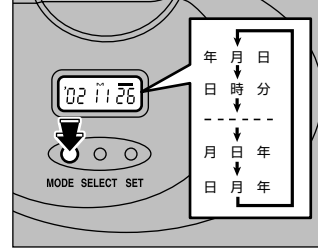
デート（年月日／時分）は写真の右下に写し込まれます。

＊写し込まれたデート表示が背景によっては見えにくくなる場合があります。
＊日付の写し込みはフィルムが次のコマに巻き上げられるときに行われますので、規定枚数以上撮影した場合、最後のコマには写し込まれないことがあります。

年　月　日
日　時　分
－－－－－－
月　日　年
日　月　年

MODEボタンを押すと、デートモードを選択できます。

☞デートモードは図のように切り替わります。

＊“**M**”の下の数字が“月”表示です。

☞デート表示部右上に“▬▬”が表示されていると、選択したデートモードが写真に写し込まれます（“▬▬”はプリントには写し込まれません）。

＊“- - - - - -”を選択すると、写真にデートは入りません。